

◎A 4 片面 4 枚以内で簡潔に記載してください。

別紙 1

法人名 特定非営利活動法人 わこうフードネットワーク

事業計画書

| | |
|-----|---|
| 事業名 | フリースクール 事業 |
| 種類 | (1)SDGs 推進事業(人間 豊かさ 地球 平和 パートナシップ) (2)自立促進事業(人間 豊かさ 地球 平和 パートナシップ) |

| | |
|----------|--|
| 1. 事業の目的 | <p>【NPO 法人わこうフードネットワークの活動について】</p> <p>「こども食堂の企画を支援し、食を通じて人と繋がる居場所を作る」をコンセプトに「こども食堂」や「手作り体験」の場を提供。</p> <p>結果、下記のイベントを実施・サポート。</p> <ul style="list-style-type: none">・小学校で朝食代わりのバナナ配布(朝バナナ食堂)のサポート・地域の子ども食堂の立ち上げや運営の相談事業・味噌づくり、おはぎづくりイベント実施 <p>【フリースクール事業の目的】</p> <p>「誰一人取り残さない」ため、不登校児のための、学校でも家庭でもない第三の居場所をつくり継続させること。具体的には下記の3点。</p> <ul style="list-style-type: none">・生活圏内にフリースクールを作り継続させること・児童と保護者の心の回復をサポートすること・児童の自立を支援すること <p>【フリースクール立ち上げの背景】</p> <p>和光市初のフリースクール「ひだまりスペース」は、責任者である富施の、母としての想いからスタート。「ひだまりスペース」への富施の想いは以下の通り。</p> <p>私の娘は、学校が苦手です。理由は、多人数制であること、ずっと椅子に座り続けること、みんなと同じことを限られた時間ですること、人前で注意を受けること等。</p> <p>持ち前の真面目な性格で、上記をがんばりこなしていましたが、オーバーヒートし学校から足が遠のいていきました。学校に行ったり行かなかつたり生活が始まり、かれこれ2年。彼女はときどき申し訳なさそうに言います。</p> <p>「みんなと同じように学校に行きたい。でも、胸が苦しくなってどうしても行けない」</p> |
|----------|--|

彼女の特性に合う場所を、と少人数制のオルタナティブな学びの場・居場所を探しましたが、生活圏内に見つけることができませんでした。

同じころ、同じように学校をお休みしているお友だちが、平日の昼間にインターフォンを押してわが家を訪ねてくることができました。

(学校には行けない。でも、誰かと繋がっていたい気持ちの子が他にもいるんだな。)

このとき、ふと SDGs の理念「誰一人取り残さない」が脳裏に浮かび、ちょうど良い居場所がなければ作ればいい！それも早急に！と思い立ちました。それが 2023 年 2 月末のこと。子どもの一年は、人生のベースを作るという意味で特別な意味を持ちます。もう一刻の猶予も許されないと、不登校児の増加が予想される 5 月を目標にオープンを急ぎました。(5 月 15 日(月)プレオープン済み)

「不登校は経験を失う」という言葉があります。

たしかに学校生活の経験は失われるかもしれませんが、学校以外で時間を過ごした経験もまた、将来的に見ればかけがえのないものだと思います。

ただ、問題は、自分を責めながらなのか、安心感に包まれながらなのかということ。理由は、子どもの自己肯定感や幸福度に直結するからです。

【ひだまりスペースが目指すこと】

- ・「子どもがゆったりのんびり過ごすことで、自分らしさを取り戻す」ための安心・安全な居場所の提供。
- ・子育てで悩んだり孤立化している保護者向けの、繋がりを得られる居場所の提供。
- ・子どもや保護者の「やってみたい」ことに挑戦するためのサポートや環境の提供。
- ・子ども・保護者・私達の間で、共に居場所を育みあう協力関係を育む。

【利用者からの感想・要望】

(5 月 15 日・22 日：利用者から掲載の了承済み)

<感想>

子どものためと思っていましたが、同じような状況の子どもたちと会え、保護者の方とおしゃべり出来て私の心が少し軽くなりました。

(A さん)

行く前は気が進まなそうだった娘が、お昼もここで食べていくと自分から言ったので、居心地が良かったのだと思います。本人に聞いたら、また行きたいとは思わないけどすごい嫌という訳じゃないだそうです。

母親の私としては、なかなか本音を話せる場がなかったところ、話を聞いてもらえたことにとっても救われました。学校に行かないと親も拠り所を失ってしまいます。そういった意味でも、このようなスペースを作っていたことに感謝しています。

(B さん)

| | |
|-----------------|--|
| | <p><要望> 毎日開催して頂きたいです。 場所も固定されてるといいなと思いました。 (Cさん)</p> <p>【助成金受給により成しえること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリースクール事業を継続できる ・不登校児や保護者の居場所を確保できるので、不登校児や保護者の孤立化を緩和できる ・子ども達が自宅待機のままでは得られなかった、人との繋がりや経験を得ることができる。 ・助成金によるフリースクールの定期開催により、認知が広がり参加者や協力者を増やせる <p>【助成金受給後の展望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリースクール継続開催の実績を作り、市からの委託をめざす ・ひだまりスペース親の会をつくり、保護者参加型運営の基盤を作る(2024年中目標) ・近隣のこどもの居場所と連携し、参加者が利用しやすい環境を整える ・年に2~4回ほど、シンポジウムや講座などを開き、不登校児やひだまりスペースの認知を増やす ・上記により、協力したい想いをお持ちの方から支援を募る <ul style="list-style-type: none"> →クラウドファンディング(2024年3月予定・目標金額検討中) →賛助会員(年間3,000円)・法人会員(年間10,000円)(2024年5月予定) |
| <p>2. 事業の内容</p> | <p>1)フリースクール事業 ~誰もが幸せに暮らせる社会を創造するための事業~(定款より)</p> <p>1.趣旨:不登校児が気軽に通える第三の場所を作り継続させる</p> <p>2.実施時期:2023年5月15日~(毎週月曜日)</p> <p>3.対象者:小学生~高校生</p> <p>4.場所:市内公共施設</p> <p>5.参加見込み人数:各回6名~10名(見込み) ※今後増加する場合は、少人数性を保つために開催日を増やす。(週2回開催)</p> <p>6.外部の協力者・団体など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和光市役所市民活動推進課(チラシ掲示) ・和光市社会福祉協議会(チラシ掲示) ・北原小学校運営協議委員 山西葉子氏 |

| <p>3. 実施計画</p> | <p>○実施までの準備 2023年5月15日に、既にプレオープン(～7月18日迄)済み。毎週月曜日実施</p> <p>○スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="405 398 1220 775"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>24日</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>夏休み</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>4日、11日、19日、25日</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>2日、10日、16日、23日、30日</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>6日、13日、20日、27日</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>4日、11日、18日、25日</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>15日、22日、29日</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>5日、13日、19日、26日</td> </tr> </tbody> </table> <p>○広報計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ SNSでの周知 ▪ ホームページ(作成中) ▪ 本オープン(2023年10月)時にプレスリリース ▪ 関係各所への周知 ▪ J:COM「つながる News」に取材してもらう(5月9日取材実施) (参考までに先方に編集してもらった、取材カ所の YouTube 動画を添付) URL:https://youtu.be/k3Y7KsNj_04 | 時期 | | 7月 | 24日 | 8月 | 夏休み | 9月 | 4日、11日、19日、25日 | 10月 | 2日、10日、16日、23日、30日 | 11月 | 6日、13日、20日、27日 | 12月 | 4日、11日、18日、25日 | 1月 | 15日、22日、29日 | 2月 | 5日、13日、19日、26日 |
|-----------------|---|----|--|----|-----|----|-----|----|----------------|-----|--------------------|-----|----------------|-----|----------------|----|-------------|----|----------------|
| 時期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7月 | 24日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8月 | 夏休み | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9月 | 4日、11日、19日、25日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10月 | 2日、10日、16日、23日、30日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11月 | 6日、13日、20日、27日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12月 | 4日、11日、18日、25日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1月 | 15日、22日、29日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2月 | 5日、13日、19日、26日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>4. 実施体制</p> | <ol style="list-style-type: none"> ① 総括責任者: 関口寿子 ② 連絡責任者: 富施佳子 ③ 現場責任者: 富施佳子 ④ 経理担当者: 富施佳子 ⑤ 広報担当者: 佐野玲子 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>5. 事業の効果</p> | <ul style="list-style-type: none"> ▪ 不登校のために孤立する子どもが減る 試算: 5人 × 20日 = 100人(見込み) 延べ100人の子ども達がひだまりスペースで過ごす機会を持つことができる。 ▪ カウンセラーが運営しているので、子どもや保護者の気持ちに寄り添う運営ができる ▪ 教員経験者のスタッフが、学習の基本的な部分のサポートを行える ▪ 常設の場所がなくても市の施設などを活用し、子どもが集まるフリースクールを継続するモデルになることで、フリースクール増加に貢献できる。 ▪ フリースクールが生活圏に増えることで、学び方の選択肢が広がる | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

◎応募の際に本予算書で計上しなかった経費項目は、事業実施時に支出が生じたとしても対象経費とはなりません。

法人名 特定非営利活動法人 わこうフードネットワーク

事業収支予算書

1 収入の部

| 項 目 | 予算額 (円) | 積算内訳 |
|---------------------|-----------|---|
| 助成希望額 (千円未満切り捨て) | 340,000 円 | |
| 自己資金 | 150,449 円 | <ul style="list-style-type: none"> ・参加費 500 円×6 人×5 回=15,000 円(9 月迄) ・10 回チケット 15,000 円×9 人×1 回=135,000 円(10 月～2 月末迄) |
| 事業実施による収入等 | 45,000 円 | <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム参加費 1,500 円×10 人×2 回=30,000 円 ・講演会参加費 1,500 円×10 人=15,000 円 |
| その他 | | |
| 合 計 | 535,449 円 | ㊦ |

2 支出の部

| 項 目 | 予算額 (円) | 積算内訳 |
|-------|----------|---|
| 会場費 | 6,000 円 | <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム会場 2,000 円×2 回=4,000 円 ・講演会会場 2,000 円×1 回=2,000 円 |
| 通信運搬費 | | |
| 旅費交通費 | 22,984 円 | <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフバス代 178 円×2×14 回=4,984 円 ・子どもの体験活動の交通費 500 円×10 名×2 回=10,000 円(場所は子ども達と話し合っ ため未定) ・子どもの体験活動引率の交通費 1,000 円×2 名×2 回=4,000 円 ・近隣のフリースクール見学の交通費 1,000 円×2 名×2 回=4,000 円 |

| | | |
|-----------|-----------|--|
| 消耗品費 | 55,920 円 | <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフガソリン代 16 円×6 キロ×20 回=1,920 円 ・ボードゲーム代 10,000 円(何を買うかは子ども達と話し合っ て決めるため未定) ・工作の材料費 500 円×20 人=10,000 円(何を作るかは子ども達と話し合っ て決まるため未定) ・体験学習費用(入場料等)1,000 円×10 人×2 回=20,000 円 ・調理実習用の食材(毎月第 4 月曜日) 2,000 円×7 回=14,000 円 |
| 備品費 | | |
| 委託費 | 6,545 円 | <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ印刷(A4 カラー×500 枚) |
| 謝金 | 60,000 円 | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア謝金 2000 円×20 回=40,000 円 ・講演会講師謝金 20,000 円×1 回=20,000 円 |
| 人件費 | 350,000 円 | <ul style="list-style-type: none"> ・無報酬役員への講師料(講師規定に準ずる)20,000 円×2 回=40,000 円 ・スタッフ人件費 1,000 円×6 時間×20 回×2 名=240,000 円 ・スタッフ事務作業時の人件費(フリースクール時間外の準備や会計) 1000 円×5 時間/月×7 ヶ月×2 名=70,000 円 |
| その他 | 34,000 円 | <ul style="list-style-type: none"> ・誰一人取り残さないための、一人親・生活保護世帯の回数券補助費(上限 3 名)8,000 円×3 人=24,000 円 ・発達障害支援人材育成研修 2023 セミナー受講 5,000 円×2 人=10,000 円 |
| 合 計 (事業費) | 535,449 円 | ㊦ |

収入の部の合計(535,449 円) = 支出の部の合計(535,449 円)